

地域医療連携室だより

# For you

ほうゆう

平成30年7月発行（第24号）

平成30年度 夏号

## 1. 出張講座 「身体拘束について」

平成30年6月19日（火）近隣の介護施設よりご要望があり、出張講座に伺いました。「身体拘束」のテーマで講師は看護師長の石橋末宏が務めました。

- ①精神科病院における身体拘束の目的・種類・必要性
- ②精神科病院における身体拘束の実際
- ③身体拘束を行わずに対応できたケースの内容でお話をさせていただきました。

身体拘束は、「自殺企図や自傷他害が切迫している場合や、急性運動興奮状態で医療または保護を図ることが著しく困難な場合、一時的に患者の行動を制限し、患者の生命や人間関係を守る目的で行う」と精神保健福祉法で定められています。

また、身体拘束と一言でいっても様々な種類があります。

- ・ 保護室や個室での隔離
- ・ 拘束帯などを使用した身体的拘束
- ・ 車椅子安全ベルト
- ・ つなぎ服 ・ ベッド柵 ・ ミトン 等

当院ではできるかぎり身体拘束を行わないよう、代替の方法がないのかをまず検討していきます。そして、やむを得ず身体拘束となった場合も、解除に向けて定期的にカンファレンスを行っております。



## 2. 熱中症予防について

夏も本番となり、蒸し暑い季節となりましたね。毎年この時期になると熱中症で救急搬送されたというニュースが連日報道されます。特に高齢者は体内の水分量が減少し、水分や塩分の摂取に必要な食事量も低下している方が多いです。また、気温の変化を感じにくく、周りの方のケアがないと、すぐに脱水を引き起こしてしまいます。熱中症予防のポイントをまとめました。

### 高齢者の熱中症のサイン

- ・ 食欲がない
- ・ 元気がない
- ・ 口の中や唇が乾燥している
- ・ 尿の量が減った 尿の色が濃い
- ・ 体重が急に減った
- ・ 微熱がある
- ・ 脇の下が乾いている
- ・ 手の甲の皮膚を持ち上げて離すとすぐに戻らずシワができたままになる



### 熱中症を防ぐには

- ・ 食事と水分補給をしっかりとる（食事1回に150ml～200ml）
- ・ 大量に汗をかいたり発熱、嘔吐、下痢が起きた場合は、経口補水液（OS-1 など）をゆっくりと少しずつ飲む。
- ・ エアコン、扇風機などを我慢せず使用する
- ・ エアコンの室内では濡れタオルをかける。
- ・ 体温調節のしやすい服装をする。（カーディガン・スカーフなど）

### 3. 入院・外来受診のご案内

#### 【入院治療】

##### 一入院の対象となる方一

- ・認知症の周辺症状（徘徊、介護への抵抗、暴言など）でお困りの方
- ・上記の症状から施設やご自宅での生活にお困りの方
- ・ご家族の介護疲れ軽減の為に短期（2週間～1ヶ月程度）の入院を希望の方等

かかりつけ医がいる場合は紹介状のご用意をお願いしております。

事前にお話を伺い、病状を確認の上、入院予約をお取りします。

##### 一入院費用一

○医療費1割負担の方…18～19万円前後/月

○医療費3割負担の方…25～26万円前後/月

（お持ちの限度額認定証等により入院費用には個人差がございます。

詳しくは直接お問い合わせ下さい。）

#### 【鑑別診断・通院治療】

問診、画像検査、認知機能検査等を行います。

専門医がご本人を診察し、鑑別診断の結果についてご説明し、

今後の治療方針を考えていきます。

<※MRI検査等、詳しい検査が必要な場合には、協力医療機関に検査の依頼をしております。>

一人ひとり丁寧に向き合うために、診察には十分な時間がかかります。

診療は【予約制】となっておりますので事前にお電話にてご連絡下さい。

（ご相談から1～2週間前後でご案内可能です。）

#### 【看護相談外来】

認知症専門の看護師が療養生活上の相談に応じます。

<例>

- ・認知症と診断された後に必要なこと。
- ・認知症の症状への対応
- ・日常生活を整えるケア
- ・介護について
- ・介護サービスの活用等

外来日：平日のみ

9：45～12：30

相談時間：1回30分程度

費用：無料

#### 【お問い合わせ先】

地域医療連携室

担当：今野<sup>いまの</sup>・高橋<sup>たかはし</sup>

TEL045-360-8787

（代表番号になります。）

初めての相談とお伝え下さい。）

### 4. お知らせ

#### H30年度 第4回 認知症家族講座の開催

##### 「食事の工夫と脱水予防」

当院管理栄養士と作業療法士がお話します。

講義の後は家族の集いを予定しております。

日時 H30年8月18日（土）13時半～

場所 横浜ほうゆう病院 外来待合ホール

参加費 100円



#### H30年度 第2回 認知症ケア研修の開催

##### 認知症のリハビリテーション

～その人の力を引き出す関わり～

①認知症リハビリテーションの実際

②BPSDはあなた次第？

日時 H30年9月22日（土）10時～12時

場所 横浜ほうゆう病院 会議室

参加費 500円

平成29年4月より横浜市認知症高齢者緊急対応事業を受託しました。

お問い合わせ、ご相談は各区の高齢・障害支援課をお願いいたします。

\*次号（秋号）は10月頃の発行を予定しています。

本たよりについてのご意見・ご要望は地域医療連携室までお願い致します。



特定医療法人社団鵬友会  
横浜ほうゆう病院

—認知症疾患専門病院—

〒241-0812 横浜市 旭区 金が谷644-1

TEL：045-360-8787(代)

FAX:045-360-8788

ホームページ：<http://www.hoyukai.org/yokohama-hoyu/>

地域医療連携室 担当：今野 高橋